



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年7月22日

上場会社名 **リコーリース株式会社** 上場取引所 東
 コード番号 8566 URL <http://www.r-lease.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 瀬川 大介
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 (氏名) 戸谷 浩二 TEL 03-6204-0608
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月5日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	72,941	6.7	4,319	6.2	4,322	6.2	2,967	9.5
28年3月期第1四半期	68,361	6.1	4,067	4.9	4,068	4.3	2,708	9.6

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 2,941百万円 (9.0%) 28年3月期第1四半期 2,699百万円 (9.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	95.05	—
28年3月期第1四半期	86.78	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第1四半期	882,177	147,644	16.7	4,710.31
28年3月期	878,526	145,562	16.5	4,644.38

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 147,040百万円 28年3月期 144,982百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	27.50	—	27.50	55.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	30.00	—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	285,000	3.3	17,300	2.1	17,100	1.5	11,500	4.1	368.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期1Q	31,243,223株	28年3月期	31,243,223株
② 期末自己株式数	29年3月期1Q	26,565株	28年3月期	26,525株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期1Q	31,216,678株	28年3月期1Q	31,216,863株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表の監査手続に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(第1四半期連結累計期間の連結経営成績)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	増減	
			金額	伸率(%)
売上高(百万円)	68,361	72,941	4,580	6.7
営業利益(百万円)	4,067	4,319	251	6.2
経常利益(百万円)	4,068	4,322	254	6.2
親会社株主に帰属する四半期純利益(百万円)	2,708	2,967	258	9.5
1株当たり四半期純利益 (取扱高)	86円78銭	95円05銭	8円27銭	—
リース・割賦事業(百万円)	85,702	82,356	△3,346	△3.9
金融サービス事業(百万円)	6,328	8,680	2,352	37.2
取扱高合計(百万円)	92,030	91,036	△993	△1.1

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府・日銀による財政・金融政策を背景に雇用環境が改善するなど緩やかな回復基調にあるものの、新興国経済の減速懸念や英国のEU離脱問題などによる株式相場や為替相場の不安定な動きを背景に、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

リース業界においては、平成28年5月累計のリース取扱高は、前年同期比1.7%増加の7,640億円となりました。(公益社団法人リース事業協会統計)

このような経済環境の中、当社グループにおいては、引き続きバンダー営業を軸として収益性を重視した優良資産の増大と新しい成長領域の構築を図りました。総取扱高は前年同期比1.1%減少の910億円となりましたが、営業資産残高は前期末比0.5%増加し、7,563億円となりました。

その結果、売上高は前年同期比6.7%増加し729億円となりました。リース・割賦事業の売上高が順調に伸長し、営業利益は前年同期比6.2%増加の43億円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比9.5%増加し29億円と第1四半期において過去最高となりました。

	売上高(百万円)			セグメント利益(百万円)			営業資産(百万円)		
	前四半期 累計	当四半期 累計	増減	前四半期 累計	当四半期 累計	増減	前期末	当四半期 末	増減
リース・割賦	66,224	70,671	4,447	3,527	3,833	306	629,456	632,642	3,186
金融サービス	1,575	1,668	93	748	702	△46	110,606	113,001	2,395
報告セグメント計	67,799	72,340	4,540	4,275	4,536	260	740,062	745,644	5,581
その他	561	600	39	62	59	△3	12,521	10,754	△1,766
合計	68,361	72,941	4,580	4,338	4,595	256	752,583	756,398	3,815

【リース・割賦】

リース・割賦事業は、金融情勢の変化による業界内での競争激化などが影響し、取扱高は823億円と前年同期比3.9%減少しました。営業資産残高は前期末から31億円増加し、6,326億円となりました。

リース・割賦事業の売上高は前年同期比6.7%増加し706億円となり、セグメント利益は前年同期比8.7%増加し38億円となりました。

【金融サービス】

金融サービス事業は、住宅関連融資や法人向け融資が伸長し、取扱高が前年同期比37.2%増加の86億円となりました。営業資産残高は、前期末から23億円増加し1,130億円となりました。また受取手数料についても、集金代行サービスや介護報酬ファクタリングサービスが順調に推移しました。売上高は前年同期比5.9%増加し16億円となりましたが、セグメント利益は貸倒費用の増加から前年同期比6.2%減少の7億円となりました。

【その他】

その他の事業は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、計測・校正・機器点検等の受託技術サービス、及びリコーグループ内での融資、ファクタリング、国内キャッシュ・マネジメント・システムの運営等が含まれています。売上高は前年同期比7.0%増加の6億円、セグメント利益は前年同期比4.8%減少の59百万円となりました。

また、その他の事業の営業資産残高は、前期末に比べ17億円減少し107億円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の状況)

	前連結会計年度末 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間末 (平成28年6月30日)	増減	
			金額	伸率(%)
総資産(百万円)	878,526	882,177	3,651	0.4
*営業資産(百万円)	752,583	756,398	3,815	0.5
営業資産以外(百万円)	125,942	125,778	△163	△0.1
純資産(百万円)	145,562	147,644	2,082	1.4
自己資本比率(%)	16.5	16.7	0.2ポイント	

*営業資産には報告セグメントの営業資産に加え、その他事業の営業資産を含めております。

【総資産】

総資産は、営業資産が38億円増加したことなどで、前期末に比べ36億円増加し8,821億円となりました。

【純資産】

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益による29億円の増加と、剰余金の配当8億円による減少等で、前期末に比べ20億円増加し、1,476億円となりました。自己資本比率は前期末の16.5%から0.2ポイント改善し16.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第1四半期連結累計期間の連結業績は順調に推移しており、平成28年4月28日に公表した平成29年3月期連結業績予想の変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得する建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第1四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表への影響はありません。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,563	1,179
受取手形及び売掛金	11	13
割賦債権	91,379	94,469
未収賃貸債権	38,022	37,996
リース債権及びリース投資資産	526,990	527,371
営業貸付金	123,127	123,756
その他の営業貸付債権	45,474	47,723
その他の営業資産	5,043	5,044
賃貸料等未収入金	6,322	6,273
その他の流動資産	20,584	20,406
貸倒引当金	△8,228	△8,221
流動資産合計	852,290	856,014
固定資産		
有形固定資産		
賃貸資産	18,696	18,666
社用資産	408	384
有形固定資産合計	19,105	19,050
無形固定資産		
賃貸資産	63	51
その他の無形固定資産	1,596	1,513
無形固定資産合計	1,659	1,564
投資その他の資産		
投資有価証券	3,100	3,117
破産更生債権等	1,330	1,284
その他	1,615	1,675
貸倒引当金	△575	△529
投資その他の資産合計	5,470	5,548
固定資産合計	26,235	26,163
資産合計	878,526	882,177

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	21,958	13,235
短期借入金	123,218	121,131
1年内償還予定の社債	20,000	20,000
1年内返済予定の長期借入金	96,888	83,387
コマーシャル・ペーパー	10,000	19,000
未払法人税等	2,616	1,565
割賦未実現利益	7,673	7,916
賞与引当金	741	468
役員賞与引当金	29	—
その他の流動負債	43,851	46,331
流動負債合計	326,976	313,036
固定負債		
社債	80,000	80,000
長期借入金	320,939	335,479
退職給付に係る負債	1,059	1,068
その他の固定負債	3,987	4,948
固定負債合計	405,987	421,496
負債合計	732,964	734,532
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,896	7,896
資本剰余金	10,160	10,160
利益剰余金	126,800	128,909
自己株式	△47	△47
株主資本合計	144,810	146,918
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	589	535
退職給付に係る調整累計額	△418	△414
その他の包括利益累計額合計	171	121
非支配株主持分	580	604
純資産合計	145,562	147,644
負債純資産合計	878,526	882,177

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	68,361	72,941
売上原価	60,883	65,089
売上総利益	7,477	7,851
販売費及び一般管理費	3,410	3,532
営業利益	4,067	4,319
営業外収益		
受取配当金	2	2
その他の営業外収益	4	4
営業外収益合計	6	6
営業外費用		
支払利息	3	3
その他の営業外費用	2	0
営業外費用合計	6	3
経常利益	4,068	4,322
税金等調整前四半期純利益	4,068	4,322
法人税、住民税及び事業税	810	1,415
法人税等調整額	524	△85
法人税等合計	1,335	1,330
四半期純利益	2,732	2,992
非支配株主に帰属する四半期純利益	24	25
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,708	2,967

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)
四半期純利益	2,732	2,992
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△38	△54
退職給付に係る調整額	5	3
その他の包括利益合計	△33	△50
四半期包括利益	2,699	2,941
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,674	2,916
非支配株主に係る四半期包括利益	25	24

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	リース・割賦	金融サービス	計		
売上高					
外部顧客への売上高	66,224	1,575	67,799	561	68,361
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	66,224	1,575	67,799	561	68,361
セグメント利益	3,527	748	4,275	62	4,338

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、計測・校正・機器点検等の受託技術サービス、及びリコーグループ内での融資、ファクタリング、国内キャッシュ・マネジメント・システムの運営等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	4,275
「その他」の区分の利益	62
全社費用(注)	△270
四半期連結損益計算書の営業利益	4,067

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	リース・割賦	金融サービス	計		
売上高					
外部顧客への売上高	70,671	1,668	72,340	600	72,941
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	70,671	1,668	72,340	600	72,941
セグメント利益	3,833	702	4,536	59	4,595

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、計測・校正・機器点検等の受託技術サービス、及びリコーグループ内での融資、ファクタリング、国内キャッシュ・マネジメント・システムの運営等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	4,536
「その他」の区分の利益	59
全社費用(注)	△275
四半期連結損益計算書の営業利益	4,319

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。